

ヤドカリ

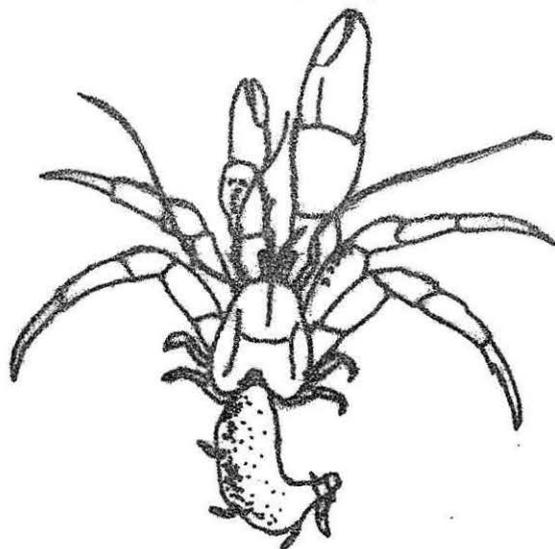
磯の転石の裏や海藻のすきまにはヤドカリがたくさんすんでいます。ヤドカリは磯の動物の中でも最も人気のあるもののひとつですが、その行動や生活のようすを調べるともっと面白いことがわかってでしょう。

ヤドカリという名は「宿を借りる」というところからきていて、巻貝などの貝を自分の家として利用しているのですが、ときには生きた巻貝を襲って殺し、殻を強奪することもあります。またより良いすみかを探めぐって仲間どうしがけんかをすることもあります。

ヤドカリはエビやカニと同じ甲かく類ですから、体は甲ら（外骨格）でおおわれています。そのため甲らをもつものの宿命として体が大きくなるたびに脱皮（だっぴ）を行う必要があります。そして

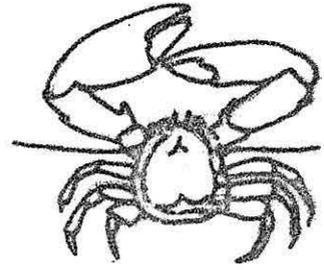
体が大きくなっても、殻は大きくなりませんから、ときどき殻を、より大きなものにかえる必要があります。引っ越しのときはかなり慎重で、ハサミで殻の入口の大きさを測って、よしとなれば、すばやく新しい殻に納まります。

ヤドカリのなかま(異尾類)には



ホシヤドカリ

殻に入らないで、まるでカニのような形のものがあります。カンヅメで有名なトラバカニや北海道名物のハナサキガニをはじめ、磯の石の下などにすんでいるカニダマシのなかまもヤドカリのなかまです。彼らは最後の足が小さく、一見したところ六本足のように見えます。



イソカニダマシ

ヤドカリは比較的飼いやすい動物で人工海水(食塩水ではない)で、よく育ちます。エサも生の魚の切れはしやご飯つぶも食べます。ただ露店で売られているオカヤドカリは奄美大島から南にいる陸上のヤドカリで野菜の切れはしなどで飼うことができます。(N.N.)

——標本同定会のごあんない——

夏休みに採集した植物、こん虫、岩石、化石、貝などの標本のうち、自分で調べても名前がわからなかったものについて名前をお教えします。

日時：8月30日(日) 午前10時から午後4時まで(この日に一括して行います。)

場所：科学文化センター サークル教室

料金：無料(ただし展示室やプラネタリウムを御覧になるときは観覧料が必要です。)



富山市科学文化センター

富山市西中野町3丁目1番19号 (〒930-11)

電話 富山(0764) 91-2123(代表)